【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【公表番号】特表2006-517275(P2006-517275A)
【公表日】平成18年7月20日(2006.7.20)
【年通号数】公開・登録公報2006-028
【出願番号】特願2006-501121(P2006-501121)
【国際特許分類】
Ｆ０１Ｎ　3/26　(2006.01)
Ｃ０４Ｂ　38/00　(2006.01)
Ｆ０１Ｎ　3/28　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０１Ｎ　3/26　ＺＡＢＪ
Ｃ０４Ｂ　38/00　３０３Ａ
Ｆ０１Ｎ　3/28　３１１Ｌ
Ｆ０１Ｎ　3/28　３１１Ｎ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成22年2月25日(2010.2.25)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００５５】
ある実施形態において、スラリーは膨張性材料を含まない。膨張性材料は、成形三次元絶縁体から分離できる傾向がある。絶縁体から離れると、膨張性材料は移動することができ、絶縁体またはモノリスに衝突する可能性がある。例えば、汚染防止装置のエンドコーン領域に用いると、膨張性材料は、汚染防止装置を含む車両が動いているときに、絶縁体またはモノリスに絶えず衝突する可能性がある。絶縁体は、かかる状況下においては、分解する傾向が増大する。分解が極度になると、物品は絶縁材料としてもはや機能し得ない。大きな異物が入口へ放出される場合には、モノリスは詰まり始める。